

大石だより

第44号

☆★☆☆
1面 目次 ☆★☆☆
2面 管理者・GH主任のご挨拶
3面 GH・就労B・健康教室
行事写真 4面 決算報告

「漆」で地域貢献

就労継続支援B型管理者

大井 宏征

ここ、大石の里のある岩木山の麓では、暑かった夏も9月に入り朝夕は涼しく一枚羽織るものが必要な季節となりました。

この時期、大石の里では「ミヨウガ」の収穫が最盛期を迎えます。収穫はミヨウガ畑に潜り込み、一つ一つもぎ取り、それを丁寧に水洗い、袋詰めにして、地域の産直所に納品します。当事業所のミヨウガは粒が大きいのが特徴で、多い時には1日に100袋を売り上げる日もあり、常に完売する状況です。

この春、就労継続支援B型事業所では「漆」栽培に新たな作業として取り組みました。5月に苗木200本を植栽しました。苗木は青森県が推奨する漆栽培の事業により無償で提供を受けました。



漆栽培のきっかけは、事業所として常日頃から、地域貢献を模索している中で、伝統工芸品である津軽塗に使う地元産漆の生産を推進する取り組みが新聞紙上で見かけたのが始まりでした。県の担当課等に栽培の意義や管理方法等を相談し、栽培が地元産漆の安定供給に繋がり、地場産業発展に貢献できるのではないかと考え取り組む事を決めました。実際の漆採取までは約15年の歳月を要しますが、栽培で大切なのは徹底した「草刈り」であると指導を受け実施しています。園地の管理をしつかり行い、立派な「漆の森」を作り、将来、自分たちで育てた漆が、津軽塗に活用される事を願い大切に育てていきます。

今年も暑い夏でしたが、利用者の皆さんは、熱中症等で体調を崩すことなく作業に参加していました。これからも作業を通じて、利用者様の生活を支援してまいります。今後とも各方面のご協力をよろしくお願いいたします。



四季折々の行事でおもてなし

グループホーム 大石の里

主任 三上 晃路

秋分の日を境に、日照時間も徐々に短くなり、朝夕と涼しくなってきましたが、皆様お身体の調子はいかがでしょう。そして、間もなく木々の葉も色付いてきますと、紅葉のシーズンが到来します。当事業所でも、グループホーム及び、通所でサービスを利用する利用者様を対象とした収穫祭や紅葉見物の行事も実施しました。これも皆さんが楽しみにしている行事です。

また、夏は夏で「ねぶた見物」、板柳の「花火大会」で季節の風物詩を味わえる行事を開催し、参加された利用者様はとても楽しんで見物しました。

これから寒くなり、季節が冬になりますと、「クリスマス・忘年会」等の大きい行事も開催します。

今後とも四季折々の季節感や余暇の充実を味わっていただけるよう、利用者様へおもてなしできるよう、職員一同邁進してまいります。



◆グループホーム

今回、中南地域県民局のご厚意により「ソメイヨシノ」と「つつじ」の苗木の贈呈がありました。苗木は7月18日に施設の前庭に植樹いたしました。

植えた木々は、季節ごとに花を咲かせ、施設に彩りを感じさせてくれることと思います。

今後、施設のシンボルとして、皆さんを見守り育つ事を期待しています。将来、大きく育った桜の下で、皆さんと「お花会」が出来ることを楽しみに大切に育てます。



◆就労B

今年もたくさん
収穫しました♡

季節は夏から秋へと移り、畑では収穫の時期となりました。

夏の畑作業は「熱中症警戒アラート」の発表を気にしながらの取組となりましたが、猛暑日はなく雨にも恵まれ、収穫した作物は大きさも良く、傷みも少なく、良い状態で収穫できました。

10月には恒例の収穫祭を行

い、畑でとれたじゃがいも、

ミョウガ等を使った料理を食

べ、作物への感謝と収穫の喜

びを利用者の皆さんと味わい

ました。これから冬にかけ、

りんごジュースの加工作業が

忙しくなりますが、皆さんに

飲んで「美味しい」と言ってい

ただける商品を作ってまいり

ますので、ご愛用よろしくお

願いいたします。



第13回

もしかして秋バテ？

けんこう情報室

「秋バテ」という言葉をご存じでしょうか？過酷な夏が過ぎて、気温も下がり、過ごしやすくなったのに、だるい、疲れがとれない、やる気が出ない、頭が痛い、めまい、食欲がない、胃がもたれる等、そんな症状に心当たりのある方は、もしかしたら「秋バテ」かもしれません。

秋は天気の変化や1日の寒暖差がとても大きい季節。日中は暑いのに、朝晩は冷え込むので体も体温調節に必死です。そんな変化の多い秋に、夏の疲れを引きずったまま突入してしまうと、体は悲鳴をあげて、秋バテの症状がみられるようになります。秋バテ予防は疲労回復と変化への順応がカギとなります。では、いくつか解消法をご紹介します。

【温度差による自律神経の乱れをリセット】

入浴はぬるま湯にゆっくりとつかり、体の中から温めましょう。

【冷たいものの摂りすぎによる内臓の冷え改善】

常温や温かいものを、体を温める食材を取り入れて、体を冷やさない。

【秋バテは旬の食材で解消。おすすめの食材】

・体を元気にする効果がある

山いも、さつまいも、しいたけ

・消化の働きを助ける、

かぶ、人参

・身体を温める効果がある、

ねぎ、にら、しょうが

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋など、楽しく過ごすために健康管理をして、元気に秋の季節を過ごしましょう。

夏を満喫

6月 B型 事業所 20周年 記念

豪華なお食事(#^.^#)

平川市、津軽おのえ温泉 福家で記念の行事をしました。美味しいご飯の後にカラオケもしました🎤。もちろん温泉に入り大満足です!(^_^)!



7月 岩木夏祭り

出店やパレードを存分に楽しみました(^_^)♪



8月 ねぶたまつり



弘前ねぶた祭りを見物してきました。扇ねぶたに組みねぶた、どれも迫力が凄かった!(^_^)!

板柳花火大会



≪法人単位≫ 資金収支計算書

社会福祉法人みやぎ会

(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日

	勘定科目	金額
事業活動による収支	事業活動収入計 ①	4,579,393,404
	事業活動支出計 ②	4,288,168,754
	事業活動資金収支差額③(①-②)	291,224,650
施設整備等による収支	施設整備等収入計 ④	103,096,227
	施設整備等支出計 ⑤	285,589,458
	施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-182,493,231
その他の活動による収支	その他の活動による収入計 ⑦	350,000,000
	その他の活動による支出計 ⑧	75,138,377
	その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	274,861,623
当期資金収支差額合計 ⑪(③+⑥+⑨)		383,593,042
前期末支払資金残高 ⑫		3,023,944,475
当期末支払資金残高 ⑬(⑪+⑫)		3,407,537,517

≪法人単位≫ 事業活動収支計算書

(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日

	勘定科目	金額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計 ①	4,560,552,176
	サービス活動費用計 ②	4,509,262,942
	サービス活動増減差額③(①-②)	51,289,234
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計 ④	36,553,221
	サービス活動外費用計 ⑤	37,602,413
	サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	-1,049,192
経常活動増減差額 ⑦(③+⑥)		50,240,042
特別増減の部	特別収益計 ⑧	48,564,940
	特別費用計 ⑨	81,773,721
	特別増減差額 ⑩(⑧-⑨)	-33,208,781
税引前当期活動増減差額 ⑪(⑦+⑩)		17,031,261
法人税、住民税及び事業税 ⑫		0
法人税等調整額 ⑬		0
当期活動増減差額 ⑭(⑪-⑫-⑬)		17,031,261
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 ⑮	4,775,478,733
	当期末繰越活動増減差額 ⑯(⑭+⑮)	4,792,509,994
	基本金取崩額 ⑰	0
	その他の積立金取崩額 ⑱	0
	その他の積立金積立額 ⑲	0

≪編集後記≫

暑かった夏が過ぎ、だいぶ秋めいてきました。毎年のことではありますが、気がつくと、年末もすぐそこまで迫ってきました。皆さん、急な温度差で体調を崩さぬよう、どうぞお気をつけ下さい！



≪ご意見・ご感想・お問い合わせ≫

多機能型事業所「大石の里」
 住所：青森県弘前市大字百沢字東岩木山3138-2
 電話：0172-93-2110
 FAX：0172-93-2220
 アドレス：oosi-jusan@sg-miyagikai.or.jp
 機関紙名：大石だより 第44号
 発行人：社会福祉法人みやぎ会 大石の里
 編集員：生活広報委員会



大石の里では毎朝、SGグループの理念を唱和し、業務に取り組んでいます。

≪SGグループ理念≫

私たちエスジーグループは、
 ホスピタル精神（おもてなし）をもち、
 医療・福祉・保健を通じて
 地域社会の人々の幸せに貢献します。
 患者・利用者・ご家族に喜ばれ
 感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりと
 ホスピタリティある仕事を徹底しておこないます。